

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2008-205620(P2008-205620A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-36814(P2007-36814)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月1日(2010.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像信号を順次出力する撮像手段と、

前記撮像手段から順次出力された画像信号から、時間的に連続したL(Lは、3以上の整数)フレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続しないM(Mは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して動画像用画像信号を生成する第1の加算手段と、

前記Lフレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続したN(Nは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して静止画像用画像信号を生成する第2の加算手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

撮像手段から順次出力された画像信号から、時間的に連続したL(Lは、3以上の整数)フレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続しないM(Mは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して動画像用画像信号を生成する第1の加算工程と、

前記Lフレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続したN(Nは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して静止画像用画像信号を生成する第2の加算工程と、を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記の目的を達成するため、本発明の実施形態に係る撮像装置は、

画像信号を順次出力する撮像手段と、

前記撮像手段から順次出力された画像信号から、時間的に連続したL(Lは、3以上の整数)フレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続しないM(Mは、Lより小さくか

つ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して動画像用画像信号を生成する第1の加算手段と、

前記Lフレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続したN(Nは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して静止画像用画像信号を生成する第2の加算手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記の目的を達成するため、本発明の、さらに他の実施形態に係る撮像装置の制御方法は、

撮像手段から順次出力された画像信号から、時間的に連続したL(Lは、3以上の整数)フレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続しないM(Mは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して動画像用画像信号を生成する第1の加算工程と、

前記Lフレームの画像信号のうちの互いに時間的に連続したN(Nは、Lより小さくかつ2以上の整数)フレームの画像信号を加算して静止画像用画像信号を生成する第2の加算工程と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】